

【日本気象協会からのお知らせ】

2020年9月29日
一般財団法人 日本気象協会

2020年度「岡田賞」表彰式を開催

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：長田 太）は、2020年9月28日（月）に本社において、2020年度「岡田賞」の表彰式を開催しました。

岡田賞は、明治から大正、昭和にかけて気象事業と地球物理学の発展に尽力し、気象庁の前身である中央気象台の第4代台長を務めた岡田武松氏の功績を記念し、その分野で多大な功績を残した優秀な研究者に対し、日本気象協会が毎年、受賞者の選考と授与を行っています。昭和50年に創設し、今回で44回目の表彰式となります。

今年度の受賞者と功績は下記のとおりです。

●2020年度「岡田賞」受賞者

東京大学大学院情報学環長・学際情報学府長
越塚 登（こしづか のぼる） 殿

●表彰理由

『気象ビジネス推進コンソーシアムを通じ民間における気象データ利活用推進に寄与した功績』
「気象ビジネス推進コンソーシアム」の設立に寄与し初代会長として気象データを活用した新たな気象ビジネスの創出の推進や気象情報・データ利活用の企業への普及と人材育成など気象データ利活用の推進に多大な貢献をされました。



以上